

# 働きすぎ黒書 ニュース

全日本教職員組合（全教）生権局

2006年12月25日

東京都千代田区二番町12-1 3F

## 壊れるまで働くの？

東京・小学校教員

私は東京の小学校の音楽専科です。1年から6年までの子どもたちと音楽の勉強をしています。

朝5時に起床、6時に家を出て90分の遠距離通勤。学校に7時30分の到着、管楽器クラブの朝練を土日を除いて学校のある日は1日の休みもなくやっています。私の区では、学力低下に伴う「教育改革」の一つとして昨年からは土曜スクールが始まり、週休2日制がくずされました。小規模の学校なので教員全員で分担せざるを得ず、年間6回担当します。

6月17日（土）も出勤し、8時5分から4時間の勤務となり、この振り替えは何ヶ月も先の夏休みにとることになっています。60分ずつ2コマ、国語と算数の授業と個別指導をしました。11時20分、大慌てで子どもたちを返し、コンビニの冷やし中華をかきこみ、11時50分に玄関集合。管楽器クラブのクリニックのため36名を徒歩30分の中学校に連れて行き、4時まで中学生と一緒に楽器の講習や練習。学校に子どもたちを連れ帰ったのが5時。長年の疲れがぬけず、この日は帰りにマッサージに行き、60分で5450円。それからスーパーで買い物。夜9時過ぎに夕食。休日のはずの土曜日が・・・

昨年までは、音楽の授業のほかに、算数のチームティーチング（複数教科担任）の担当まで。しかも校長に「中心にすすめる教師で」と言われました。音楽の中種、高種の免許しか持たない私は、完全に無免許です。免許更新制度を言う都教委が、こんなことを見逃しているのか疑問です。

管楽器の指導は全体練習、パートごとの練習、一人一人の音チェックをしなければ演奏にはなりません。子どもたちは放っておくと、耳で聞こえた音をみんなが吹いてしまいます。そこで私の休息时间15分×2回と休憩時間45分が個人指導になります。また音楽は学校行事と直接かかわることが多く、始業式、入学式に始まり、卒業式まで「君が代」を教え、ピアノも弾かざるを得ません。（従わないと職を失う恐れあり）自己矛盾で自分の心の中がぐちゃぐちゃになります。

毎年行われる音楽会も、特色ある活動の中の重要な位置をしめています。常に評価がつきまとい、プレッシャーを受け、大きなストレスになっています。私の腰痛、肩こり、腕の痛みは慢性的なものになっています（頸肩腕症候群という病名に懐かしささえ感じるほど、今はもっと過酷になっています）。「見栄え」がすごい音楽会をやるなどと思うと、心を通わせ、できたことを互いに喜びあえる楽しい学校からどんどん遠ざかっていきます。

私には、悪性リンパ腫とたたかっている妹と88歳で大病をした母もいます。もっと一緒に過ごす時間を作りたいけれど、毎日がアップアップの生活です。3人のかわいい孫たちにも勉強を見てやったりピアノを教えてやりたいと思いつつも、自分が疲れきっていてそれもできないまま、大きくなっています。

今はなんだか、ただ前につんのめるように日々過ごすだけで、頭の中は思考停止の状態のような感じがします。このまま壊れるまで働けというのでしょうか。